

著郎五三原松師教學西極學範師常尋勝山圖

帖畫鍊學小

四之卷

汲歲校學範師常尋縣山圖

K 120

4

○ 輪廓略畫

人萬物ノ見ルニ當テ其弱体ノ位臯ト遠近ノ因ニ形狀ノ種々ニ變化ス
ルヲ見ル可シ此畫ハ元來目ニ視ユルマヽノ形狀ヲ寫スモノナレバ光ツ

木篇第一圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第四圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第五圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第六圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第七圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第八圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第九圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十一圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十二圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十三圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十四圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十五圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十六圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十七圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十八圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第十九圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十一圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十二圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十三圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十四圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十五圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十六圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十七圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十八圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第二十九圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三十圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三十一圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三十二圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三十三圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三十四圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

木篇第三十五圖地平線ハ即チ眼目ノ高サヲ示シ甲乙丙ノ三圖ハ皆方柱ニシ

如キハ眼目ノ上ニ在ルヲ以テ見ルヲ得ザルナリ

丙ハ吾人ノ左方ニ在リ故ニ前ノ理ニ因テ前右ノ二傍面ヲ見ルヲ得且

ツ其上端面眼目ノ下ニアルヲ以テ是亦見ルヲ得ルナリ

第二圖中モ方柱ノ一部ナレニ其各傍面何レモ吾人ノ眼目ニ並行セザル

モノニシテ其各邊亦遠近ニ因テ大小アリ

乙ハ圓柱ニシテ其兩端面ニ現ハル、橢圓ノ短徑地平線ヲ距ルニ從フテ

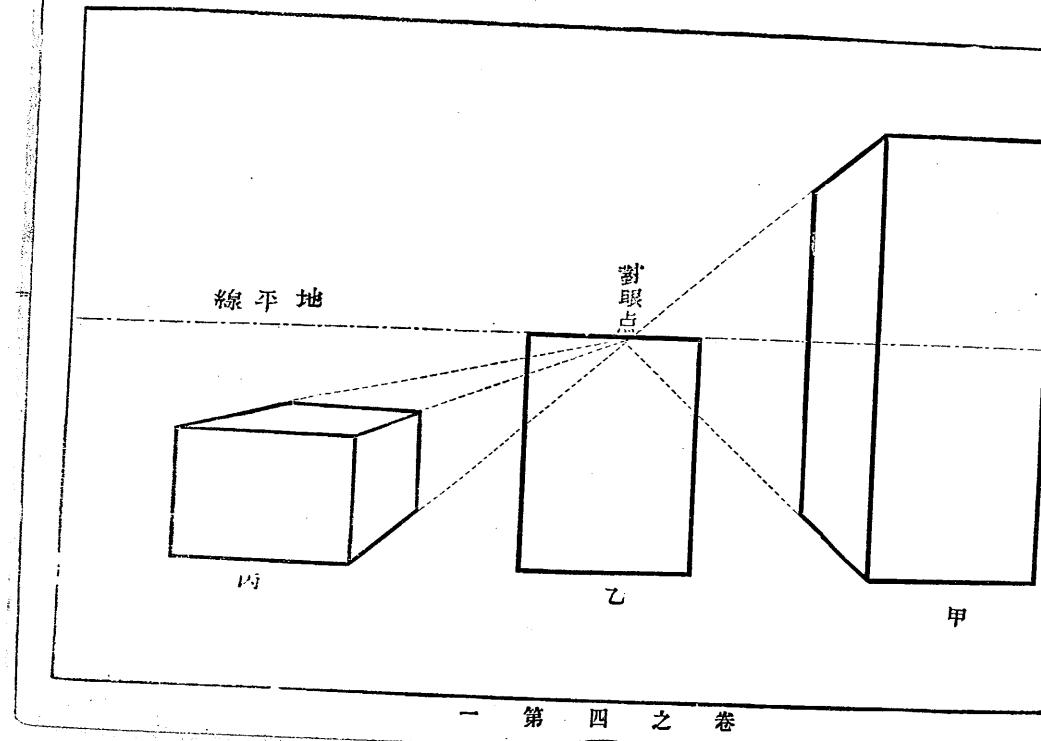
潛ヤク長伸スルヲ示ス

丙ハ箱蓋乍開ノ狀ナリ凡テ此ノ如ク樞一依テ開閉スルモノハ常ニ弧狀

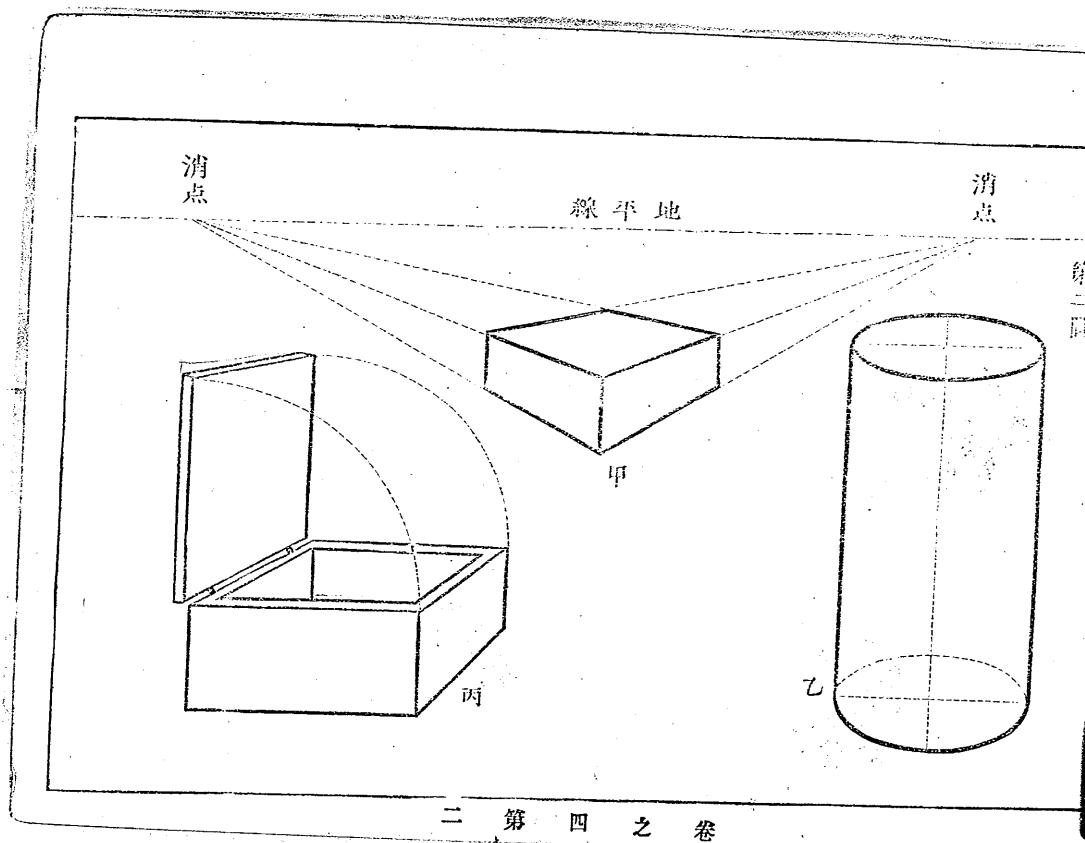
ヲナシテ進ムモノナルガ故ニ之ヲ側面ヨリ見ル片ハ其長サニ於テ變化ス

アルヲナシ

第一圖

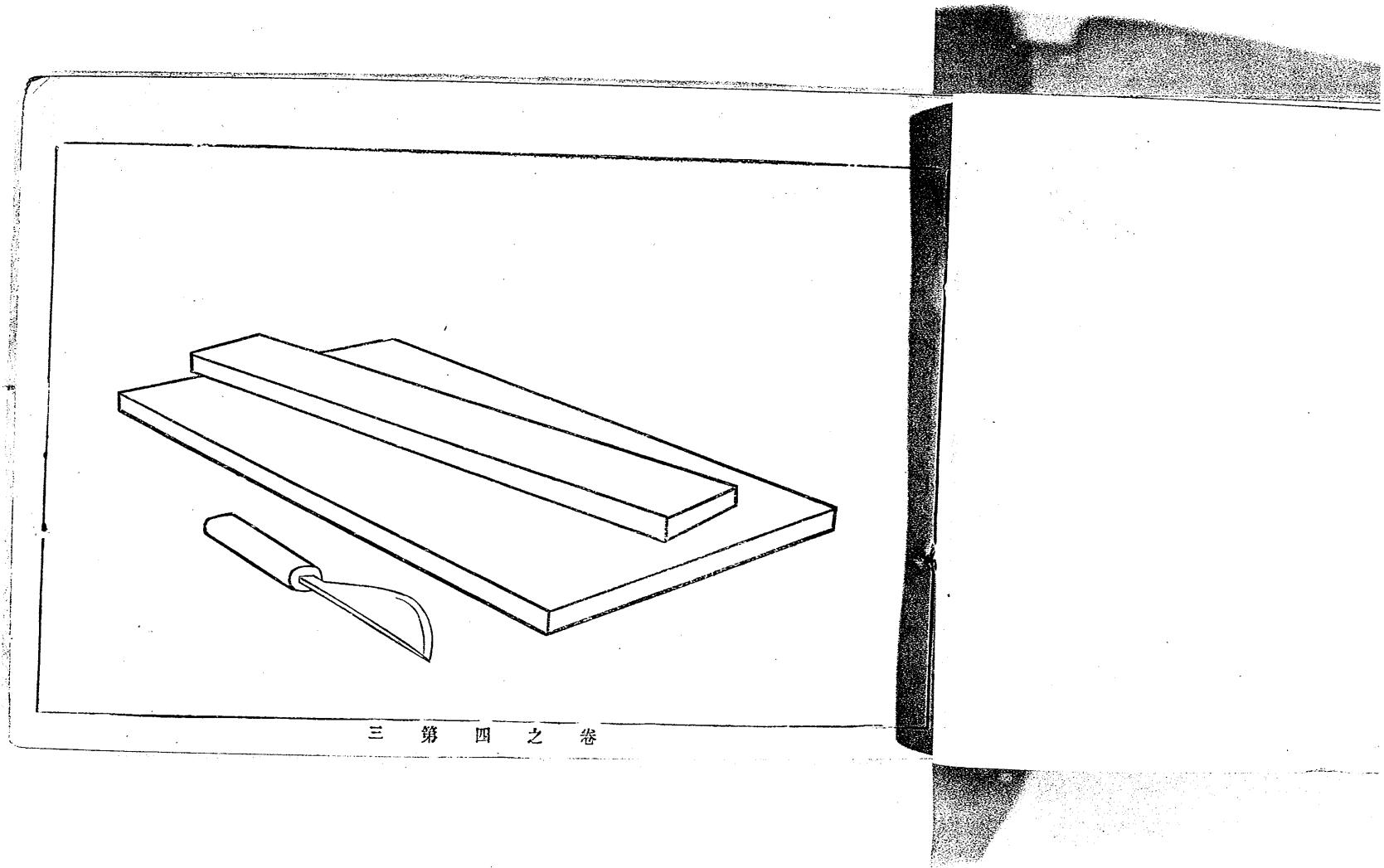


一 第四之卷

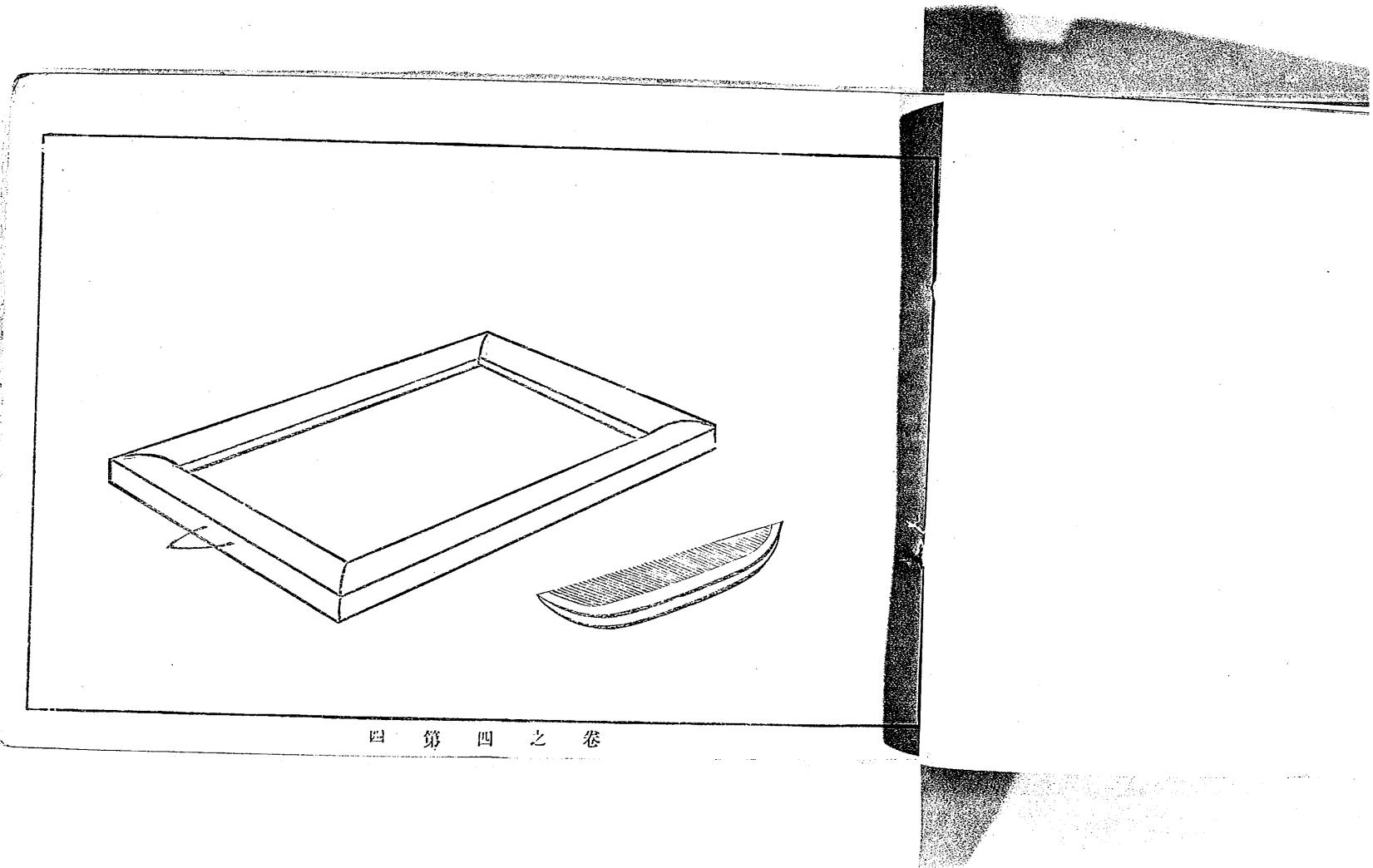


二四之卷

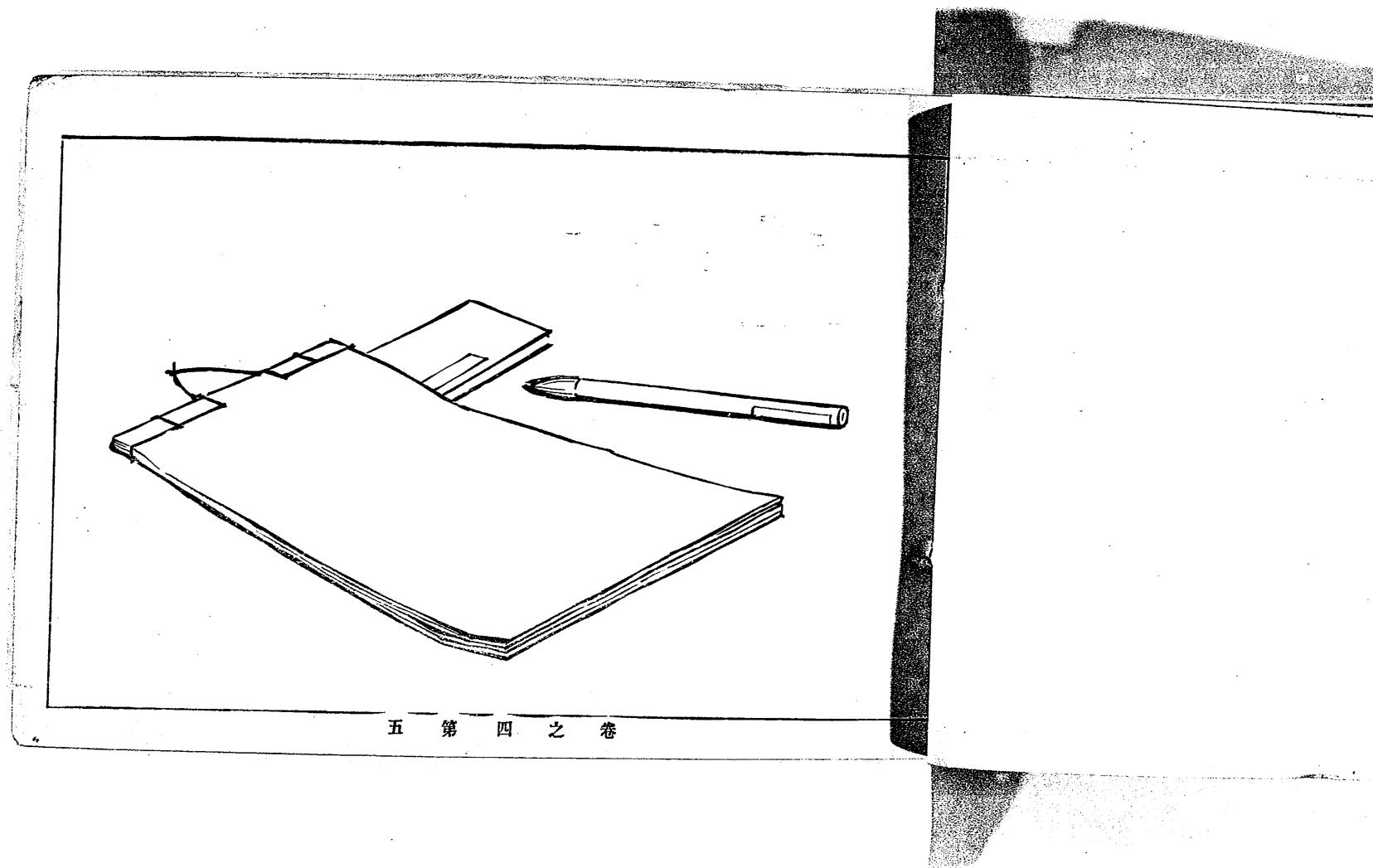
第二圖



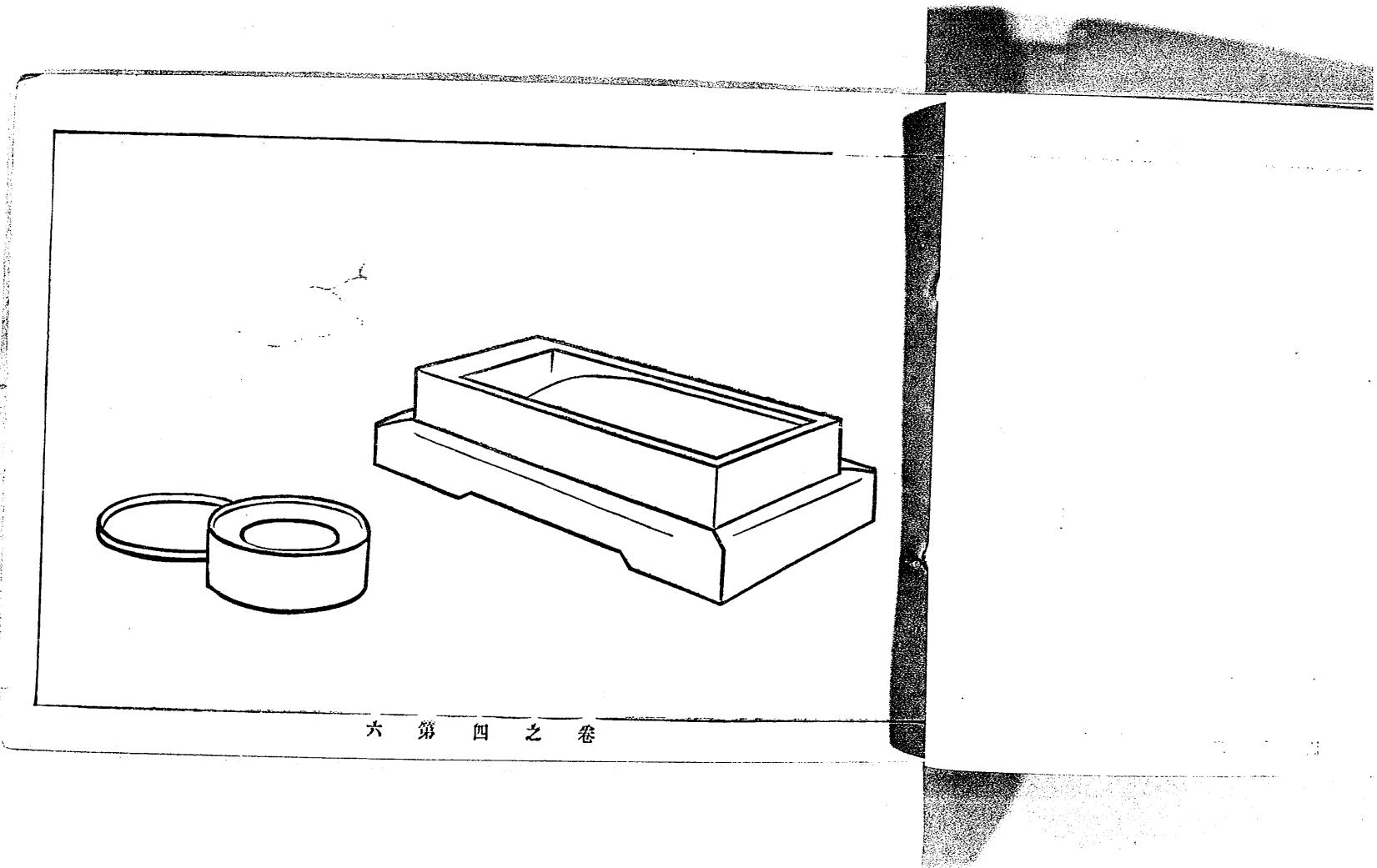
三 第 四 之 卷



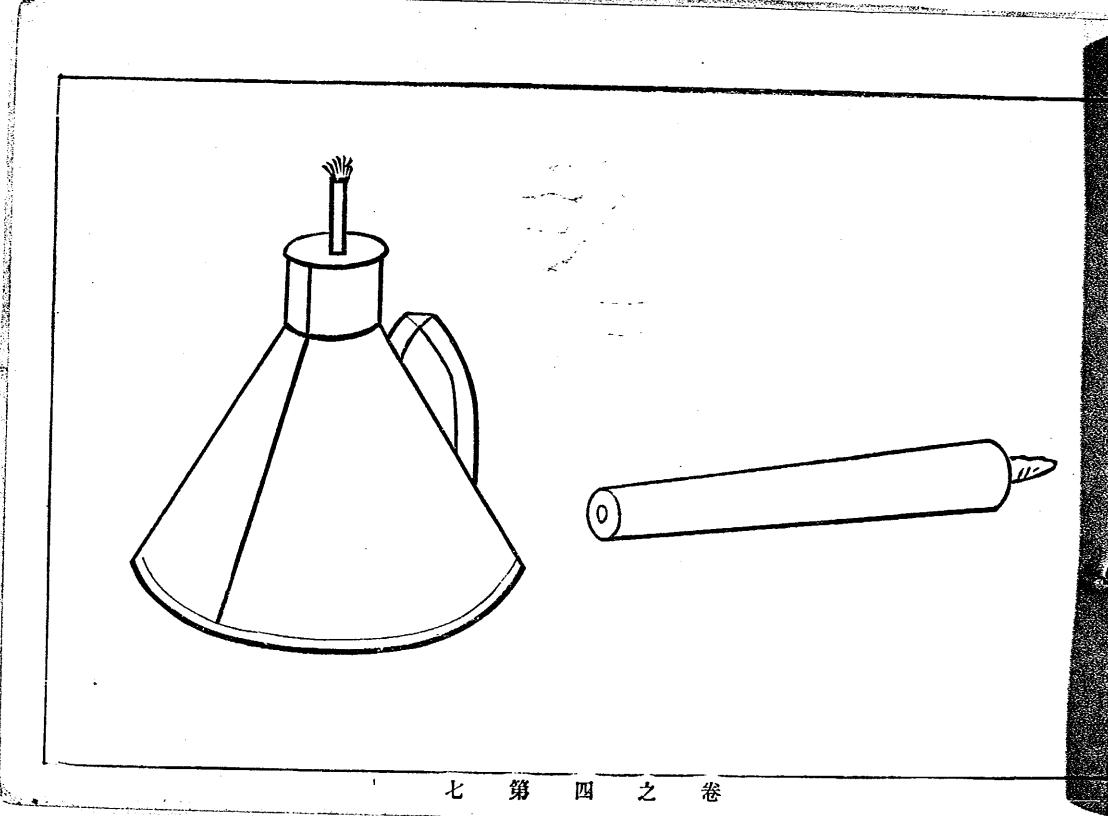
四 第 四 之 卷

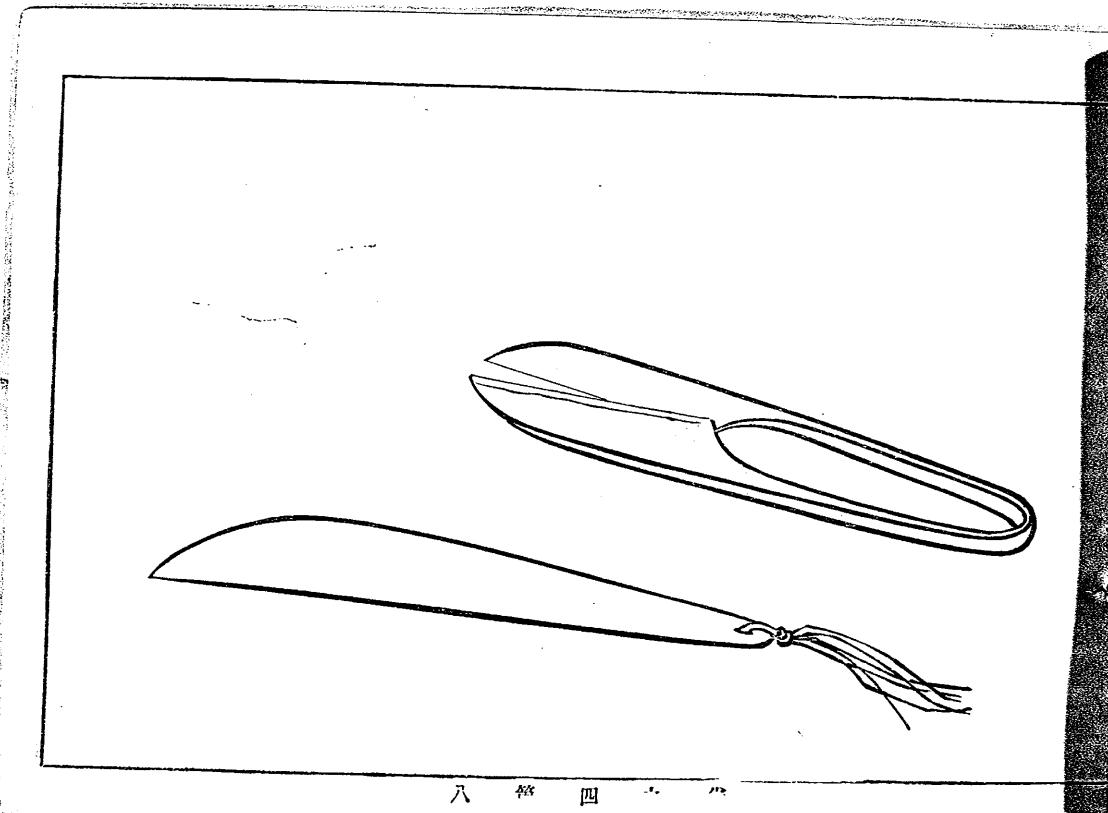


五 第 四 之 卷

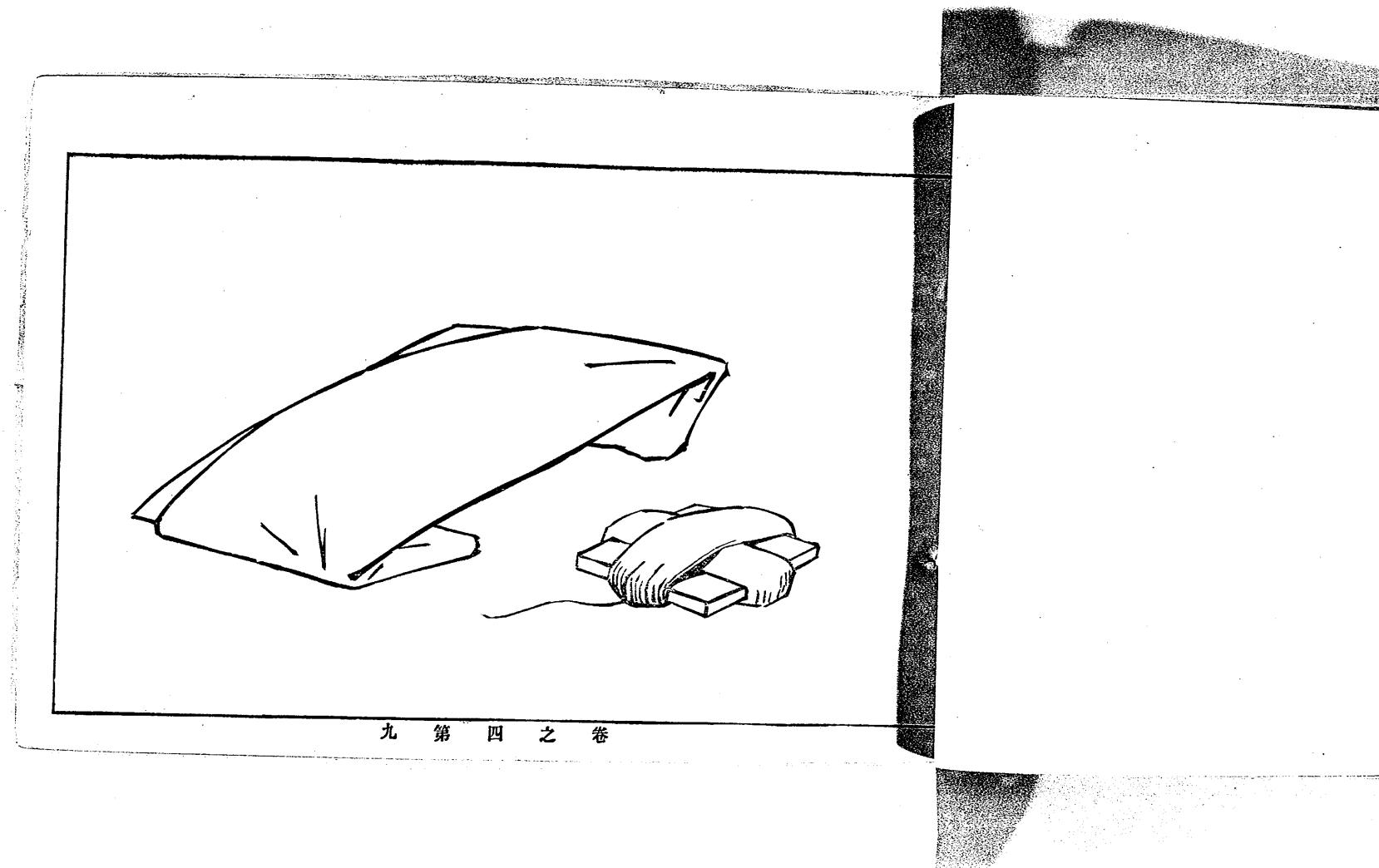


六 第 四 之 卷

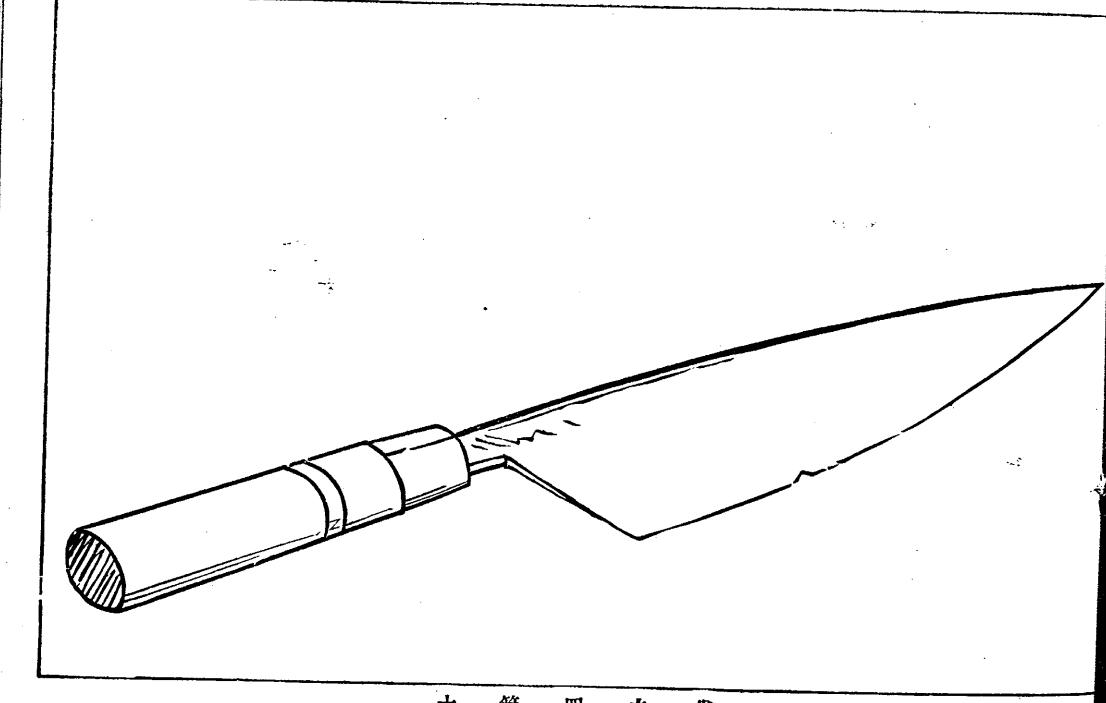




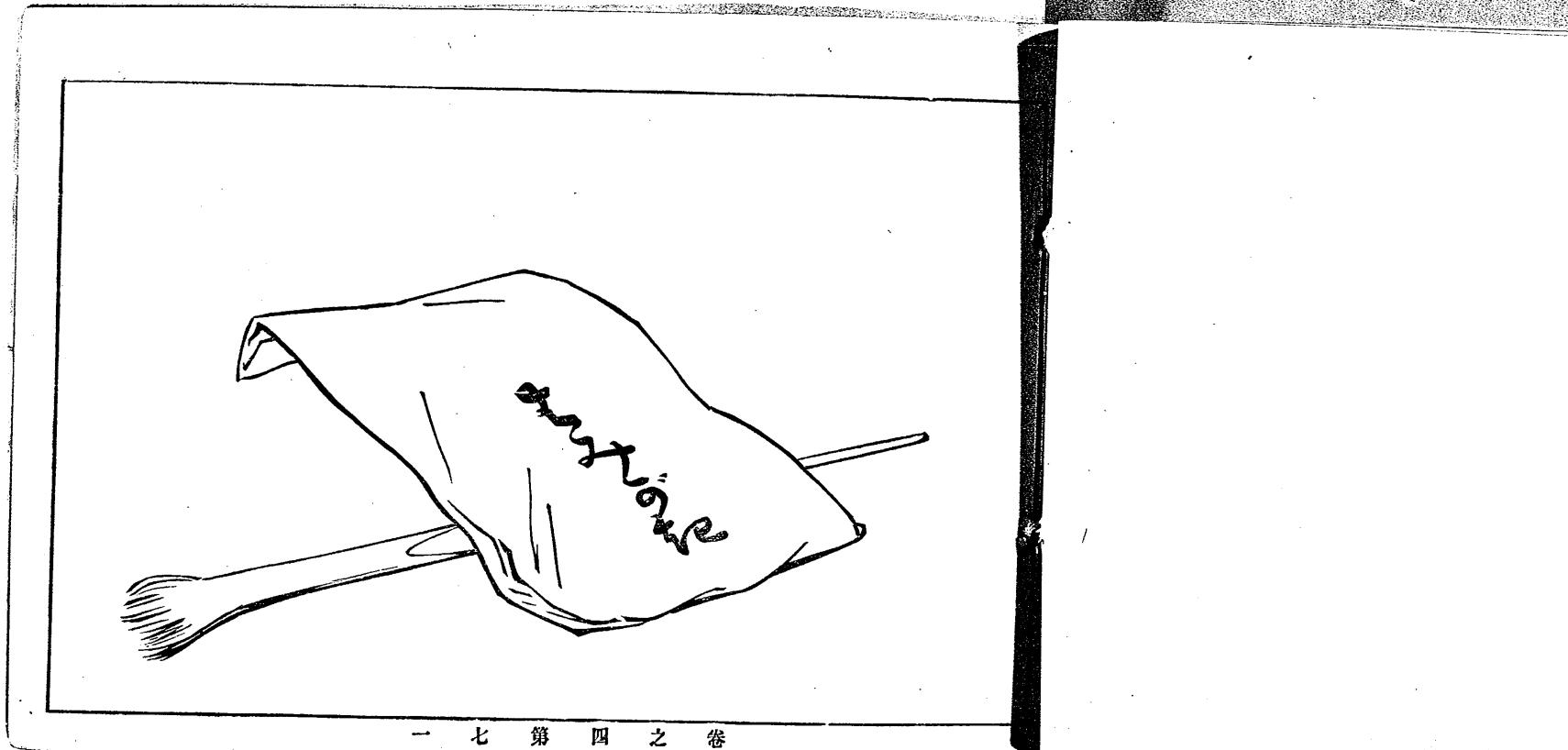
八 筆 四 一 八



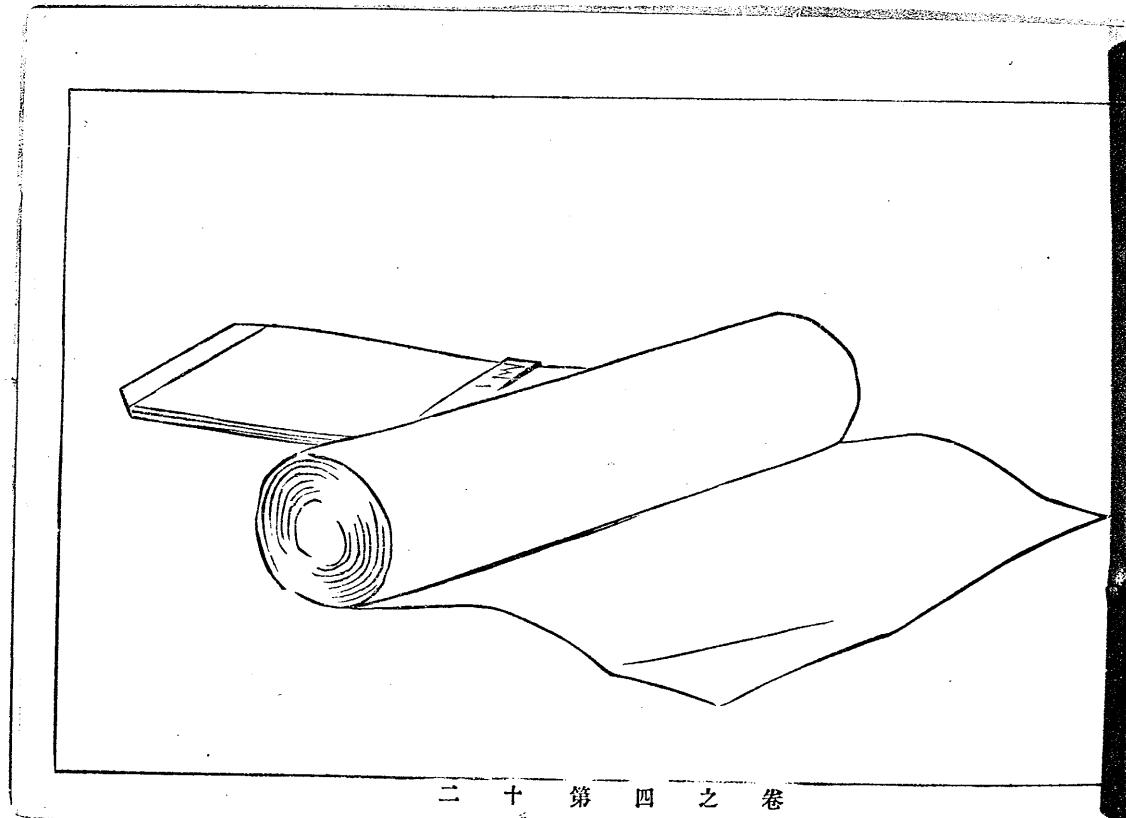
九 第 四 之 卷



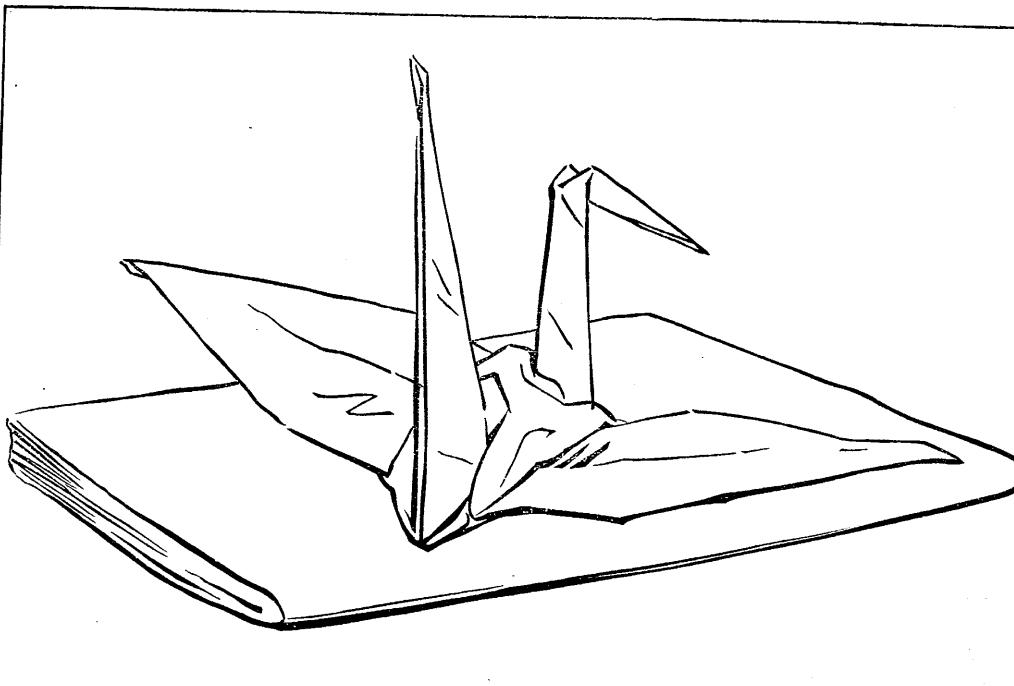
卷之四第十一



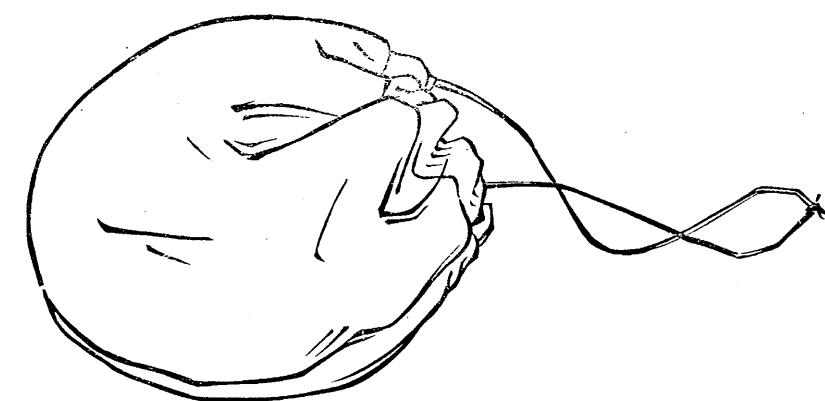
一七第四之卷



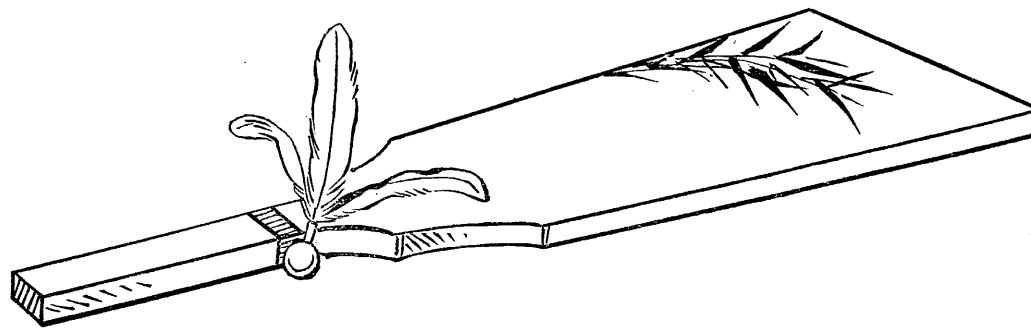
三十一之卷



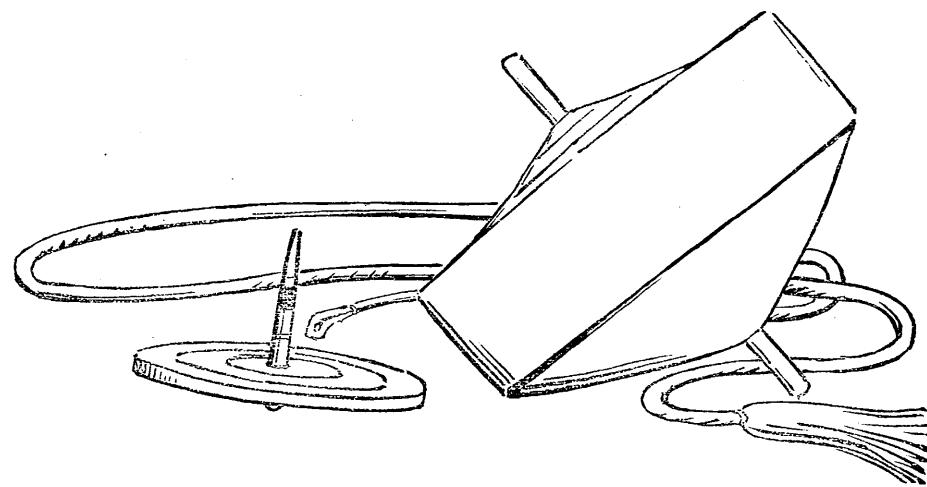
三十一之卷



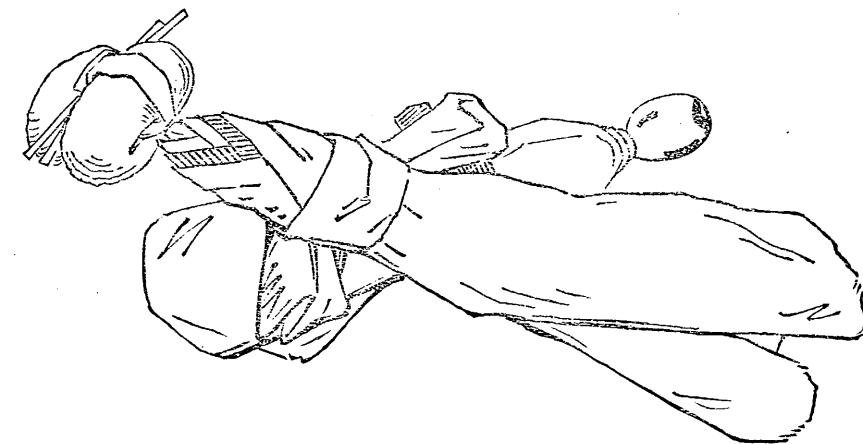
四十一之卷



五十一之卷



六十一之卷



七十一之卷

○復畫及聽畫ノ方法

復畫及聽畫ハ記憶力ヲ培養シ或ハ注意ヲ密ニスル等ノ効用頗ル多シト雖ニ其方法稍ヤ高尙ナルヲ以テ小學校ニ於テ之ヲ實施スルト少シト雖其如何ナルモノタルヲ知ラシメソガ爲ノ爰ニ其方法ノミヲ示ス

復畫

復畫ハ一度臨本或ハ教師ノ塗板ニ示セル書ニ依テ一枚ヲ描タル後其臨本或ハ教師ノ示セル書ヲ效メ再ヒ其書ヲ書クモノニシテ記憶力ヲ培養スルニ最モ適切ナル方法ナリ其順序大體左ノ如シ

第一 直線向面界畫 線ノ短長面積ノ如何ヲ記憶スベシ

第二 曲線向面界畫 専ラ曲線ノ面度ヲ記憶スベシ

第三 雜線向面界畫 雜線トハ曲度ヲ異ニセル種々ノ曲線ノ混淆ヨリ成リ立ツ形ニシテ只曲直二線ノ混淆セルモノヲ云フニ非ザレバ宜シク各部ニ於テ線ノ種類ヲ觀察シ且其各部ノ面度ヲ記憶スヘキナリ

第四 直線輪廓界畫 遠近大小等形狀變化ノ記憶ヲ要ス

第五 曲線輪廓界畫 記憶ノ要無別ニ同シ

第六 施影略畫 以上五項ノ記憶ニ陰影ノ濃淡ヲ併セテ記憶ス可シ

復畫ニハ別ニ鍛習ノ書ヲ附セズ之ヲ學バゾト欲スルモノハ前六項ノ各種ニ就テ之ヲ鍛習ス可シ

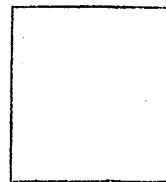
聽
畫

此畫ハ教師ノ口稱ニ應シテ畫クモノニシテ言語ヲ練習シ注意ヲ密ニス
ルノ効アリ

例

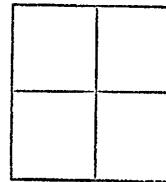
教師曰ク各邊ノ長凡ソ一寸ノ正方形ヲ作レ

生徒



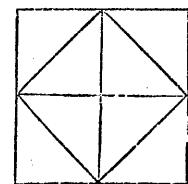
ヲ畫ク

生徒

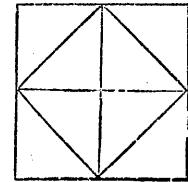


ヲ畫ク

教師又曰ク各邊ヲ二等分シ上分點ト下分點ヲ結ビ左分點ト右分點ヲ結ヘ



生徒



ヲ畫ク

教師曰ク左分點ヨリ下分點、下分點ヨリ右分點ト順次四分點ヲ繫ケ

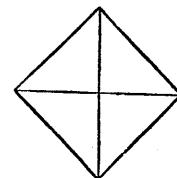
別ヘハ右ノ題ニ於テ第四回目ノ命令ニ



聽書ノ例零ホ前ノ如シト雖ニ此外教師ニ於テ何レヲ消セト命スルヲア

教師曰ク初メノ正方形ヲ消セ

生徒



此ノ如クス等ナリ

聽書問題

三角形

(第一) 一邊ノ長凡二寸ノ正三角ヲ作レ。各邊ヲ底邊トシテ正三角ヲ作

レ
(第二) 一邊ノ長凡ソ三寸ノ等邊三角ヲ作レ。各邊ヲ底邊トシテ正三角ヲ作

レ
(第三) 底邊ノ長凡一寸兩邊ノ長凡二寸ノ等脚三角ヲ作レ。其底邊ヲ底

トシテ前ト同寸ノ兩邊ヲ有ツ等脚三角ヲ作レ。両個ノ等脚三角
ノ頂角ヲ直線ニテ繋グ

正方形

(第一) 一邊ノ長凡一寸ノ正方形ヲ作レ。正方形ノ各邊ヲ一邊トシテ上
下左右ニ四個ノ正方形ヲ作レ。初ノ正方形ヲ消セ

(第二) 一邊ノ長凡ソ二寸ノ正方形ヲ作レ。各邊ヲ二等分セヨ。上邊ノ左
分點ト下邊ノ右分點ヲ結ベ。上邊ノ右分點ト下邊ノ左分點ヲ結
ベ。左邊ノ上分點ト右邊ノ下分點ヲ結ベ。右邊ノ上分點ト左邊ノ
下分點ヲ結ベ。各邊三等分中中央ノ部分ヲ消セ

(第三) 各邊ノ長凡ソ一寸五分ノ正方形ヲ作レ。二個ノ對角線ヲ作レ。各
邊ヲ二等分セヨ。其各分點ヲ繋テ正方形ヲ作レ。又此正方形内ニ
二個ノ對角線ヲ作レ

○長方形

(第一) 縦凡一寸横凡二寸ノ長方形ヲ作レ。上下二邊ヲ二等分セヨ。上分

點ト下邊ノ兩端ヲ結ベ。下分點ト上邊ノ兩端ヲ結ベ。

(第二) 縦凡二寸横凡一寸ノ長方形ヲ作レ。各邊ヲ二等分セヨ。各分點ヲ

結テ四邊形ヲ作レ。其四邊形内ニ二個ノ對角線ヲ作レ初メノ長方形

ヲ消セ。

○六角形

(第一) 一邊ノ長凡ツ二寸ノ正三角形ヲ作レ。各邊ヲ三等分セヨ。分點ヲ結

テ六角形ヲ作レ。六角形ヲ存シテ其他ヲ消セ。

(第二) 各稱ノ長凡ツ一寸ノ正六角形ヲ作レ。相對スル各角ヲ結ベ

○鵠畫ニ附テ生徒ノ注意

教師口稱中ハ生徒ニ於テ發言スルヲ不可トス。万一之ヲ聞キ漏ラシテ其

圖ヲ作り能ハザルヲアルモ教師ニ於テ改メテ口稱セザルモノナリ。

明治十九年十一月十五日版權免許

定價八錢

明治廿年九月廿日

訂正御届

岡山縣士族

著者 松原三五郎

岡山區東中山下百四番地

岡山縣尋常師範學校藏版

製本賣弘

大坂東區南久宝寺町甲目



前川善兵衛

備前岡山區西大寺町

同

武内彌三郎